

介護保険

2
ページ

相談先

**担当の介護支援専門員（ケアマネジャー）
担当圏域の地域包括支援センター**

訪問系サービス

訪問介護・訪問看護・訪問リハビリテーション・訪問入浴介護 など

通所系サービス

通所介護（デイサービス）：一般型、認知症対応型、リハビリ特化型
通所リハビリテーション（デイケア）など

短期入所生活介護（ショートステイ） など

その他

小規模多機能型居宅介護・看護小規模多機能型居宅介護（一つの事業所が訪問・通い・泊りのサービスを提供）
特別養護老人ホーム・介護老人保健施設・認知症対応型共同生活介護（グループホーム）
住宅改修費支給・福祉用具貸与/購入

～介護保険外サービス～

**自費サービス、配食サービス、
日用品配達、介護タクシー など**

介護保険のサービスを利用するには、要介護・要支援認定を受ける必要があります。支援が必要と感じたら、お近くの地域包括支援センターに相談しましょう。必要なサービスについて、専門職と一緒に考えます！



見守り安全・住まい

相談先

宇治市役所（0774-22-3141） ※ご利用には要件があります。

宇治市高齢者等SOSネットワーク

行方不明になる可能性がある方が対象で、事前に登録し、いざという時に早期に発見できる仕組みです。

高齢者へのGPS貸与

行方不明になる可能性がある方を対象にGPSを貸し出す制度です。

要配慮者の情報登録

災害時に自力で避難が困難な人を早期に救出するために事前登録ができます。

シルバーホン

急病になった時に緊急通報できる装置を設置することができます。

日常生活用具の給付

電磁調理器や火災警報器、自動消火器の給付により日常生活をサポートする事業です。

ふれあい収集（ごみ収集福祉サービス）

ごみ出しが困難な一人暮らしの方等に、玄関等で個別のごみ収集を行うサービスです。

介護予防安心住まい推進事業

介護保険の認定を受けていない65歳以上の高齢者を対象に、住宅の改修工事に要した費用の一部を助成するものです。

相談先

宇治市障害者・高齢者権利擁護センター、地域包括支援センター

成年後見制度

自分に代わって契約を結んだり、財産の管理をお願いできます。

相談先

担当圏域の地域包括支援センター

サービス付き高齢者向け住宅・ケアハウス・有料老人ホーム

*運転免許証自主返納支援制度とは
運転免許証の自主返納をされた65歳以上の方を対象にICOCA 2,000円分（デポジット500円を含む）を宇治市が交付する支援事業です。運転に不安を感じている人は、免許証の自主返納をご検討ください。



相談窓口

3
ページ

●高齢者に関する総合相談窓口はこちら

地域包括支援センター ※月曜日～土曜日 9時～17時（祝日・年末年始除く）

65歳以上の高齢者の総合的な支援を行う地域の拠点です。宇治市には8か所あり、お住まいの地域によって担当するエリアが分かれています。

認知症コーディネーター ※月曜日～金曜日 9時～17時（祝日・年末年始除く）

認知症の普及啓発、本人家族支援、ネットワークづくりなどに取り組み、必要とする方に適した事業をご案内します。



中宇治地域包括支援センター内 ☎ 0774-28-3686
北宇治地域包括支援センター内 ☎ 0774-21-8123
西宇治地域包括支援センター内 ☎ 0774-28-6282
東宇治北地域包括支援センター内 ☎ 0774-33-8270

認知症初期集中支援チーム

認知症コーディネーターが、発症や関わり初期段階において、医療受診や介護サービスについて一緒に考えサポートします。

●介護保険の申請や市のサービスを利用したい方はこちら

宇治市役所 ※月曜日～金曜日 8時30分～17時15分（祝日・年末年始除く）

長寿生きがい課（GPSの貸与やSOSネットワークの登録など）
介護保険課（介護保険の申請手続きや保険料に関することなど） ☎ 0774-22-3141（代表）

●家族の話を聞いてほしい方はこちら

認知症の人を介護した経験のある家族が、家族ならではの不安や悩みをお伺いします。

宇治市介護者（家族）の会 ☎ 0774-22-5650（宇治市社会福祉協議会）
公益社団法人 認知症の人と家族の会 京都府支部 ☎ 0120-294-677（京都府認知症コールセンター）
※月曜日～金曜日 10時～15時（祝日・年末年始除く）

●65歳未満の方の相談はこちら

就労や障害年金などの社会制度の相談ができます。

京都府若年性認知症コールセンター ☎ 0120-134-807 ※月曜日～金曜日 10時～15時（祝日・年末年始除く）

●認知症の当事者に話を聞いてほしい方はこちら

認知症の本人、家族が同じ立場で（ピアサポート）気持ちを共感したり、体験を共有しています。



ノックノックれもん（京都認知症総合センター） ☎ 0774-25-1125

医療

かかりつけ医がいる場合は、まずはかかりつけ医に相談をしてみましょう。必要に応じて、専門医を紹介してもらうことができます。また、認知症を発症する原因となる病気の中には、早期に適切な治療を受けることで、改善したり、進行を遅らせることができる場合もあります。かかりつけ医がない場合は、通いやすさや診断にかかる受診回数などに応じて、下記の病院にご相談ください。穏やかに過ごすために、適切な受診、服薬管理や健康管理を心がけましょう。

チェック! 宇治市内の認知症サポート医がいる医療機関 ※「きょうと認知症あんしんナビ」より

◇宇治おうばく病院 五ヶ庄三番割32-1 電話：0570-024089	◇京都認知症総合センタークリニック 宇治里尻36-35 電話：0774-25-1110	◇上田診療所 菟道平町17 電話：0774-22-7586	◇じんのクリニック 六地藏町並39 電話：0774-31-1122
◇宇治徳洲会病院 榎島町石橋145 電話：0774-20-1111	◇おうばく駅前内科クリニック 五ヶ庄新開11番地29-18 電話：0774-33-2828	◇今林医院 小倉町西浦88-39 電話：0774-21-4522	
◇京都府立洛南病院 五ヶ庄広岡谷2 電話：0774-32-5900	◇ふじいキハダ診療所 五ヶ庄新開11 JR黄葉駅前ビル2F 電話：0774-31-3111	◇おやいづ医院 伊勢町町南山52-6 電話：0774-41-6013	
◇宇治武田病院 宇治里尻36-26 電話：0774-25-2500	◇かどさか内科クリニック 平尾台4-3-2 電話：0774-31-1077	◇まつだ在宅クリニック 大久保町目黒11-8 コパンジューヌ201 電話：0774-46-8039	



宇治市の認知症のシンボル「れもんちゃん」

誰もが認知症とともに生きる時代！
この1冊で、まるわかり！

認知症とともに
自分らしく生きるための、みちしるべ

れもんパス

[宇治市認知症ケアパスVer.Ⅲ]

令和7年3月発行

このれもんパスは、認知症の本人やその家族、れもねいだーのご意見を踏まえて更新しました。

認知症とは

認知症とは、いろいろな原因で脳の細胞が壊れてしまい、記憶や理解、判断などの認知機能が低下することで、日常生活に支障をきたした状態をいいます。

本人・家族からのメッセージ

本人

居場所と仲間とやりがいがあれば、認知症であっても、自分らしく地域で暮らしていくことができます。「大丈夫」と言いたい。

本人

認知症になってからでも、できることがたくさんあります。できるうちにできることを楽しむことが大切です。

家族

夫が認知症と診断されてから、早いかないと思いつつも、本人としっかり最期のことまで話し合いました。早い段階から本人の思いをしっかり聞いて、話し合うことが大切です。

家族

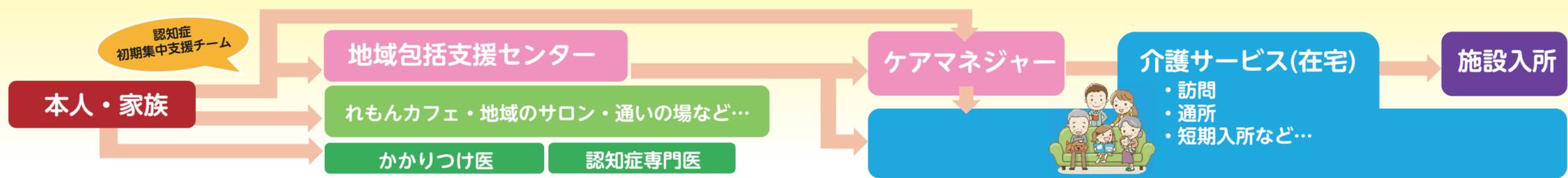
妻が認知症であることを周りの人に公表したところ、多くの人が支援の手を差し伸べてくれて、妻が元気になりました。

宇治市

れもんパス：認知症のステージと支援の流れ

認知症の発症前や発症して症状が進行していく段階(ステージ)に応じて「本人や家族に必要な支援とサービス」を例示した認知症ケアパス(支援の流れ)です。

本人の様子	発症前・認知症の疑い	日常生活は自立	見守りがあれば日常生活は自立	日常生活に手助けが必要	常に介護が必要
	<ul style="list-style-type: none"> ●約束を忘れることがある。 ●時間がわかりにくくなる。 ●置き忘れやしまい忘れが目立ち、探し物が増えた。 ●ものの名前やよく知っている人の名前が出てこない。 	<ul style="list-style-type: none"> ●「あれ」「それ」などという代名詞が多くなる ●日にちや曜日、季節感がわかりにくくなる。 ●薬やお金の管理がうまくできない。 ●冷蔵庫の中に同じものや期限切れのものが増える。 	<ul style="list-style-type: none"> ●イライラして怒りっぽくなった。 ●買い物に行くと同じものばかり買ってくる。 ●冷蔵庫の中に同じものや期限切れのものが増える。 ●料理の味付けが変わったと言われるようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●慣れた場所で、道に迷う。 ●家族など、知っている人の顔がわからなくなる。 ●入浴や受診など必要なことを嫌がったりする。 ●排泄を失敗したり、身なりが乱れる。 ●リモコンや家電の操作がうまくできない。 	<ul style="list-style-type: none"> ●言葉が減り、表情がとぼしくなる。 ●自宅内でも、トイレの場所などがわからなくなる。 ●話しかけた言葉が理解できず、会話が難しくなる。 ●食事が飲み込みにくくなり、介助が必要になる。 ●日中も眠っている時間が多くなる。
ピアサポート (認知症を歩む先輩たちからの言葉)	<p>本人様へ</p> <p>今までできていたことの失敗が増えて、不安になったりしていませんか。今の気持ちを家族や友人、かかりつけ医に相談してみましょう。私も、早めに相談することで、穏やかに過ごす事ができています。</p>	<p>家族様へ</p> <p>周囲の人は、本人の様子を観察し変化に気づくことが大切です。焦って責めたり、怒ったりして、本人を追い詰めないようにしましょう。</p>	<p>本人様へ</p> <p>失敗や探し物が増え、苛立ちを感じることもあると思います。認知症とうまく付き合っていくためにも、同じ立場の仲間と話をしたり、自分のできることを大事にしましょう。</p>	<p>本人様へ</p> <p>精神的にも、身体的にも一番変化が激しい時期です。本人も家族も、うまくいかないことに立ちや不安を抱えがちになります。自分たちだけで抱え込まないことが大切です。</p>	<p>本人様へ</p> <p>ご自身の将来について考え、家族とも話し合うことが大切です。今できる備えをしておきましょう。</p>
医療	<p>3ページ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・かかりつけ医に相談してみましょう ・認知症の専門医を受診してみましょう 				
相談	<p>3ページ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域包括支援センター ・認知症初期集中支援チーム ・京都府認知症コールセンター 		<ul style="list-style-type: none"> ・宇治市役所 ・ノックノックれもん ・京都府若年性認知症コールセンター 		
本人・家族 支援活動	<p>1ページ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認知症初期集中支援チーム ・れもんカフェ 		<ul style="list-style-type: none"> ・宇治市認知症家族支援プログラム ・鈴の音会 	<ul style="list-style-type: none"> ・介護知識・技術習得教室 ・介護者リフレッシュ事業 	
介護保険	<p>2ページ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住宅改修費支給(介護保険) ・福祉用具用具貸与/購入(介護保険) 		<ul style="list-style-type: none"> ・訪問系サービス ・通所系サービス 	<ul style="list-style-type: none"> ・短期入所生活介護(ショートステイ) ・小規模多機能型居宅介護 ・看護小規模多機能型居宅介護 	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症対応型共同生活介護(グループホーム) ・介護老人保健施設 ・特別養護老人ホーム
住まい・見守り	<p>2ページ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護予防安心住まい推進事業 		<ul style="list-style-type: none"> ・サービス付き高齢者向け住宅 ・ケアハウス ・有料老人ホーム 	<ul style="list-style-type: none"> ・シルバーホン ・日常生活用具の給付 ・ふれあい収集(ごみ収集福祉サービス) 	<ul style="list-style-type: none"> ・宇治市高齢者等SOSネットワーク ・高齢者へのGPS貸与 ・要配慮者の情報登録 ・成年後見制度



本人・家族支援

相談先 **れもねいど事務局 (0774-28-3686)** [ホームページはこちら](#)

れもんカフェ
認知症の本人やその家族、また認知症について関心のある人が気軽に集えるカフェです。専門職も参加し、相談もお受けしています。

宇治市認知症家族支援プログラム
「認知症の人と家族の会」が、家族を支えるために開発した独自のプログラムです。仲間づくりや相談もできます。

鈴の音会
「認知症の人と家族の会」の世話人がアドバイザーとなり、家族同士の交流を中心に仲間づくりとピアカウンセリングを行っています。

認知症初期集中支援チーム
認知症が疑われる人や、認知症の本人とその家族に、専門医を含めた複数の専門職が受診や介護サービス導入などを支援し、地域での暮らしを継続できるようサポートします。

相談先 **宇治市役所 (0774-22-3141)**

介護知識・技術習得教室
適切な介護知識・技術を習得することで、身体的・精神的負担の軽減を図ります。

介護者リフレッシュ事業
在宅介護者自身がリフレッシュできる企画を用意しています。

相談先 **京都認知症総合センター カフェほうおう (0774-25-1125)**

ノックノックれもん
当事者同士の「出会いの窓口」です。認知症の本人やその家族が相談に応じます。(ピアサポート)

本人・家族・支援者教室
認知症について正しくわかりやすく、それぞれの立場で学ぶことができる教室です。

初期支援プログラム
認知症の本人や地域の人と一緒に楽しめるプログラムがあります。(木工、手芸、脳トレ、卓球、音楽など)

認知症アクションアライアンス「れもねいど」

れもねいどとは、認知症を「自分のこと」と捉え、誰もが自分らしく尊厳を持って、認知症とともに生きていけるように、まち全体でつながり、見守り、サポートするしくみのことです。

しごとれもん(社会参加の場・就労の場)
お茶摘みや野菜の収穫・販売を実施しています。

京都文教大学グループミーティング
認知症の本人やその家族、学生、専門職やボランティアと一緒に「認知症の人にやさしいまち・うじ」の実現について考えています。

すずなりれもんの会
認知症の本人やその家族を含めた、れもねいどに関わる人々が参加する交流会です。

れもねいど推進協議会
事業の実施状況や方針について共有する協議会です。

認知症フォーラム
その年の認知症事業の集大成として、来年度に向けたメッセージを発信する機会として毎年開催しています。

- れもねいだー**
認知症を正しく理解した市民ボランティアで、認知症の本人やその家族をサポートします。
- れもねいど加盟企業・団体**
認知症の理解をもち、市の認知症事業に協力する企業・団体です。それぞれの立場からできることを考え、行動しています。

